

今

がんばってます

八幡小学校

「おはようございます！」八幡っ子の朝は、地域の見守り隊の方々の元気なあいさつに包まれて始まります。子どもは地域の宝、地域全体で子どもを育てるという気持ちで、学校全体に伝わってきます。

平成30年度にコミュニティ・スクールの指定を受けたことを機に、郷土愛を育むキャリア教育を教育活動の柱とし、昨年度から教育目標を「佐渡・八幡を愛し、貢献できる八幡っ子」に刷新しました。このことを象徴しているのが、生活科と総合的な学習の時間の地域密着型の学習です。八幡地域の人、もの、ことについて「知る活動」、「関わる活動」、そして「貢献する活動」と系統的、発展的に学べるように学習計画を構成しています。もともとは地域行事であった海岸清掃やチューリップ大作戦、学校行事の大運動会や文化祭（学習発表会）、PTA主催のもちつき大会などを地域学校協働活動に位置付け、学校全体で地域に貢献する活動としています。

これからも、貢献できる八幡っ子を目指し、地域とともに頑張ります。

☎ 学校教育課 58-7351



全校児童・保護者・地域住民で取り組んだチューリップ大作戦



昨年12月24日地域の見守り隊によるあいさつ運動



佐渡を世界遺産に

世界遺産登録に向けて

かみまち 鉾山町あいかわ・上町散策⑧

旧相川拘置支所(その3)

旧相川拘置支所「事務所棟」の廊下を進むと、鉄格子戸で仕切られる「炊事・倉庫棟」に入ります。この炊事・倉庫棟には、文書庫や被収容者と職員の仕事を作った炊事場などがあり、当時使用されていたかまどや食器棚が残っています。

また、炊事・倉庫棟から奥へ進むと「居房棟」があります。居房棟は、被収容者を収容するための部屋で定員1人広さ約3畳の独居房が6室、定員3人広さ約6畳の雑居房が3室と医務室が残っています。各房の扉の横には報知器と呼ばれる短冊状の板があります。これは、中からボタンを押すと板が下がる仕組みで、看守に要件がある時に使用されていたものです。また、居房棟の天井中央には、明かり採り用の天窗があり、暗い棟内の廊下に外光を取り入れる造りになっています。

旧相川拘置支所の内部は、無料で一般公開されており、自由に見学することができます。ぜひ、一度当時の雰囲気を感じてみることに、訪れてみてはいかがでしょうか。

【旧相川拘置支所 公開時間】

午前9時～午後4時30分(年中無休)

☎ 世界遺産推進課 63-5136



居房棟



炊事場のかまど